

上場会社名 株式会社小野測器 上場取引所 東  
 コード番号 6858 URL <https://www.onosokki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大越 祐史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 濱田 仁 (TEL) 045-476-9706  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年12月期第3四半期の連結業績 (2022年1月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	7,061	△0.1	△576	—	△472	—	△502	—
2021年12月期第3四半期	7,068	△20.4	△877	—	△760	—	△1,489	—

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 △332百万円(—%) 2021年12月期第3四半期 △1,144百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	△48.53	—
2021年12月期第3四半期	△132.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	19,229	12,428	63.1
2021年12月期	19,446	12,720	64.1

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 12,133百万円 2021年12月期 12,458百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	5.00	—	0.00	5.00
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年12月期の連結業績予想 (2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	11.6	50	—	150	—	70	—	6.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期3Q	12,200,000株	2021年12月期	12,200,000株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	1,836,583株	2021年12月期	1,871,282株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期3Q	10,353,106株	2021年12月期3Q	11,212,149株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(会計方針の変更)	P. 10
(セグメント情報)	P. 11
3. その他	P. 12
(ご参考資料)	P. 12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## (事業環境)

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波による混乱、世界的な半導体部品等の供給不足や、ロシアによるウクライナ侵攻を発端とするエネルギー価格の高騰、急速な円安の進行、さらには中国における上海のロックダウンによる物流等への影響など、引き続き先行きが不透明な状況が継続しました。

## (受注高、売上高及び受注残高の状況)

このような事業環境のなか、受注高は8,635百万円（前年同期比4.8%増）となりました。一部に回復の傾向も見られますが、依然としてお客様の設備投資に対する姿勢は慎重であり、回復は緩やかであります。

売上高は、7,061百万円（前年同期比0.1%減）となりました。前連結会計年度からの受注残高が大きく増加していましたが、部品供給不足が当社の生産にも影響しており、売上へ結びつける事が難しい状況となっております。当社としては、部品の在庫確保や先行発注等を行っているものの、部品欠品による影響から、売上予定であった案件が先延ばしとなるなど、影響が生じております。これらの結果、受注残高は6,718百万円（前年同期比36.4%増）と、大幅な増加となりました。

## (損益の状況)

損益面では、営業損益は576百万円の損失（前年同期は877百万円の損失）、経常損益は472百万円の損失（前年同期は760百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損益は502百万円の損失（前年同期は1,489百万円の損失）となりました。

生産の効率化に向けた取組みなどを継続したことから、売上原価率は52.3%（前年同期は56.8%）と改善することができました。原材料価格の上昇があるものの、販売価格の適正化に努めております。販売費及び一般管理費は、研究開発費が部品の長納期化に対応した設計変更を含め、131百万円増加する一方、減価償却費が減少したほか、全体的な費用の見直しを進めました。このように費用圧縮等による収益性の改善がなされたものの、売上高の不足により、損失の計上となりました。

なお、当連結会計年度より、収益認識に関する会計基準等の適用を行っております。これによる影響額はP10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」に記載のとおりであります。

当社グループでは、大きく変化する事業環境に対応し、更なる成長を遂げ、また当社グループが描くビジョン（ありたい姿）を実現するため、新中期経営計画「Challenge StageⅢ」を策定いたしました。本中期経営計画におきましては、コロナ禍によって大きな影響を受けた業績の回復を目指し、「事業再生」の方針を掲げて推進いたします。また、クラウド事業領域に進出する事を目的として、株式会社Sound One（本社横浜市、資本金9千万円）を設立し、9月より業務を開始しました。当該子会社の設立による当第3四半期連結累計期間への損益に与える影響は軽微であります。これらの詳細につきましては、2022年1月28日公表の「中期経営計画「Challenge StageⅢ」策定に関するお知らせ」、及び2022年8月30日公表の「子会社設立のお知らせ」をご参照ください。（当社ホームページ<https://www.onosokki.co.jp>）

セグメント別の業績は、次の通りであります。

## &lt;計測機器&gt;

「計測機器」は、受注高は2,925百万円（前年同期比0.5%増）、売上高は2,731百万円（前年同期比1.6%減）、セグメント損益は152百万円の損失（前年同期は306百万円の損失）となりました。

回転速度分野、寸法変位分野など生産ライン関連商品や、音響・振動関連のセンサ類、半導体製造ライン向けの厚さ計等が好調に推移しました。一方、データ処理分野におきまして、部品の長納期化等を踏まえた昨年度中の前倒し発注の反動等により、鈍化がみられました。

当社の製品は多品種少量生産であることから、部品の長納期化の影響は広範囲の製品に及びます。当社としましては、部品の在庫確保や先行発注等を行っているものの、一部の部品欠品による生産遅延が生じており、受注や売上げが伸びない一因となっております。一方、上海でのロックダウン等により第2四半期に生じた当地域向けの出荷・売上への影響は、解消に向かいつつあります。

## &lt;特注試験装置及びサービス&gt;

「特注試験装置及びサービス」は、受注高は5,699百万円（前年同期比7.1%増）、売上高は、4,319百万円（前年

同期比0.9%増)、セグメント損益は424百万円の損失(前年同期は572百万円の損失)となりました。期首受注残高が大きく増加していましたが、部材の供給不足や他社納入品の遅延に伴い、売上予定であった案件が先延ばしとなるなど、影響が生じております。その結果、受注残高は前年同期比32.7%増とさらに積み上がりました。

なお、修理・校正などのアフターサービスや受託試験などのエンジニアリング領域は、堅調に推移しております。

<その他>

「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務及び当社が所有する土地・建物の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

当区分の売上高は118百万円(前年同期比1.9%増)、セグメント利益は24百万円(前年同期比18.9%増)となりました。なお、当区分の外部顧客に対する売上高は10百万円(前年同期比7.0%増)であります。

(参考)セグメント別の受注実績及び売上実績ならびに営業利益実績

受注実績

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測機器	2,910	2,925	15	0.5
特注試験装置及びサービス	5,319	5,699	380	7.1
その他	116	118	2	1.9
(調整額)(注)1	△106	△108	△1	—
合計	8,238	8,635	396	4.8

(注)1 (調整額)はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

売上実績

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測機器	2,776	2,731	△45	△1.6
特注試験装置及びサービス	4,282	4,319	37	0.9
その他	116	118	2	1.9
(調整額)(注)1	△106	△108	△1	—
合計	7,068	7,061	△7	△0.1

(注)1 (調整額)はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

営業利益実績

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測機器	△306	△152	153	—
特注試験装置及びサービス	△572	△424	148	—
その他	20	24	3	18.9
(調整額)(注)1	△19	△23	△3	—
合計	△877	△576	301	—

(注)1 (調整額)はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は19,229百万円となり、前連結会計年度末に比べ216百万円減少しました。主な内訳は、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少、仕掛品の増加であります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は6,801百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円増加しました。主な内訳は、短期借入金の減少、賞与引当金の増加であります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は12,428百万円となり、前連結会計年度末に比べ292百万円減少となりました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少、為替換算調整勘定の増加であります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ288百万円増加(14.2%)し、2,315百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、697百万円の収入(前年同期は175百万円の支出)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純損失464百万円、減価償却費397百万円、売上債権の減少額1,256百万円、棚卸資産の増加額487百万円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、201百万円の支出(前年同期は149百万円の支出)となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出247百万円、保険積立金の解約による収入191百万円であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、330百万円の支出(前年同期は998百万円の支出)となりました。主な内訳は、短期借入金の減少額300百万円、長期借入金の返済による支出28百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績につきましては、部品供給不足による影響などの不確実な要素はありますが、2022年7月22日に公表しました業績予想に変更はありません。

今後につきましては、引き続き新規受注の獲得、販売強化、業務効率化、コストダウンを推進してまいります。状況の変化などにより、連結業績予想を修正する必要がある場合は速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,026	2,315
受取手形及び売掛金	2,214	1,297
商品及び製品	501	482
仕掛品	1,082	1,442
原材料及び貯蔵品	842	1,018
その他	186	199
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	6,848	6,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,503	3,361
土地	6,743	6,743
その他（純額）	608	693
有形固定資産合計	10,855	10,798
無形固定資産	239	249
投資その他の資産		
投資有価証券	1,115	1,171
繰延税金資産	10	13
その他	376	247
投資その他の資産合計	1,503	1,432
固定資産合計	12,598	12,480
資産合計	19,446	19,229

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	411	521
短期借入金	3,000	2,700
1年内返済予定の長期借入金	28	500
未払法人税等	64	47
賞与引当金	61	275
その他	585	754
流動負債合計	4,152	4,799
固定負債		
長期借入金	500	-
退職給付に係る負債	1,955	1,889
繰延税金負債	10	8
その他	107	103
固定負債合計	2,573	2,002
負債合計	6,725	6,801
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,134	7,134
資本剰余金	1,800	1,800
利益剰余金	4,668	4,158
自己株式	△1,342	△1,317
株主資本合計	12,260	11,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190	197
為替換算調整勘定	14	160
退職給付に係る調整累計額	△7	0
その他の包括利益累計額合計	197	358
新株予約権	166	188
非支配株主持分	96	106
純資産合計	12,720	12,428
負債純資産合計	19,446	19,229



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	7,068	7,061
売上原価	4,017	3,696
売上総利益	3,050	3,365
販売費及び一般管理費	3,928	3,941
営業損失(△)	△877	△576
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	59	28
受取保険金	0	14
保険解約返戻金	-	61
雇用調整助成金	87	3
賃貸収入	10	14
その他	21	21
営業外収益合計	181	146
営業外費用		
支払利息	20	16
売上割引	15	-
支払手数料	10	6
賃貸収入原価	5	4
為替差損	9	8
その他	5	6
営業外費用合計	64	42
経常損失(△)	△760	△472
特別利益		
投資有価証券売却益	-	7
特別利益合計	-	7
特別損失		
固定資産除却損	2	0
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△762	△464
法人税、住民税及び事業税	39	31
法人税等調整額	675	7
法人税等合計	714	38
四半期純損失(△)	△1,477	△503
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,489	△502

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,477	△503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	298	6
為替換算調整勘定	37	157
退職給付に係る調整額	△3	7
その他の包括利益合計	333	171
四半期包括利益	△1,144	△332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,152	△342
非支配株主に係る四半期包括利益	8	9

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△762	△464
減価償却費	600	397
株式報酬費用	40	41
賞与引当金の増減額(△は減少)	206	210
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7	△59
受取利息及び受取配当金	△61	△30
保険解約返戻金	-	△61
支払利息	20	16
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△7
固定資産除却損	2	0
売上債権の増減額(△は増加)	336	1,256
棚卸資産の増減額(△は増加)	△265	△487
仕入債務の増減額(△は減少)	126	104
未払消費税等の増減額(△は減少)	△195	20
その他	△251	△220
小計	△211	715
利息及び配当金の受取額	61	30
利息の支払額	△20	△16
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5	△33
営業活動によるキャッシュ・フロー	△175	697
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△93	△247
無形固定資産の取得による支出	△51	△92
投資有価証券の取得による支出	△2	△77
投資有価証券の売却による収入	-	26
保険積立金の解約による収入	-	191
その他	△1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149	△201
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△500	△300
長期借入金の返済による支出	△385	△28
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△111	△0
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△998	△330
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	123
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,288	288
現金及び現金同等物の期首残高	2,843	2,026
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,554	2,315

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首より適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来は販売費及び一般管理費に計上しておりました顧客に支払われる販売手数料や報奨金及び営業外費用に計上しておりました売上割引を売上高から控除しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、従来の方法と比較して、当第3四半期連結累計期間の売上高は28百万円減少、販売費及び一般管理費は10百万円減少、営業損失は17百万円増加、営業外費用は18百万円減少、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ0百万円減少しております。また、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いにより利益剰余金の当期首残高は2百万円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	計測機器	特注試験 装置及び サービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,776	4,282	7,059	9	7,068	—	7,068
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	106	106	△106	—
計	2,776	4,282	7,059	116	7,175	△106	7,068
セグメント利益又は損失(△)	△306	△572	△878	20	△857	△19	△877

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務及び当社が所有する土地・建物・設備の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△19百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	計測機器	特注試験 装置及び サービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,731	4,319	7,051	10	7,061	—	7,061
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	108	108	△108	—
計	2,731	4,319	7,051	118	7,169	△108	7,061
セグメント利益又は損失(△)	△152	△424	△576	24	△552	△23	△576

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務及び当社が所有する土地・建物・設備の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△23百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

この結果、従来の方と比べて、「計測機器」セグメントで売上高が28百万円減少し、セグメント損失が17百万円増加しております。

## 3. その他

(ご参考資料)

(主要な経営指標等の推移)

(経営成績)

回次	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	(参考)	前年同期比増減額	前年同期比増減率(%)
決算年月	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/9	2021/9		
受注高(百万円)	13,346	13,308	9,983	11,241	8,635	8,238	396	4.8
売上高(百万円)	14,440	13,034	11,841	9,852	7,061	7,068	△7	△0.1
営業利益(百万円)	962	454	△566	△859	△576	△877	301	△34.3
売上高営業利益率(%)	6.7	3.5	△4.8	△8.7	△8.2	△12.4	4.3	—
経常利益(百万円)	1,032	499	△523	△685	△472	△760	288	△37.9
売上高経常利益率(%)	7.1	3.8	△4.4	△7.0	△6.7	△10.8	4.1	—
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	692	357	△576	△1,271	△502	△1,489	986	△66.3
売上高当期純利益率(%)	4.8	2.7	△4.9	△12.9	△7.1	△21.1	14.0	—
自己資本利益率(%)	4.7	2.4	△4.0	△9.6	△4.1	△11.1	7.1	—

(財政状態)

回次	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	(参考)	前期末比増減額	前期末比増減率(%)
決算年月	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/9	2021/9		
資産合計(百万円)	20,980	22,043	20,807	19,446	19,229	18,717	△216	△1.1
負債合計(百万円)	6,231	6,938	6,596	6,725	6,801	5,721	75	1.1
純資産合計(百万円)	14,749	15,104	14,211	12,720	12,428	12,995	△292	△2.3
自己資本比率(%)	69.6	67.6	67.3	64.1	63.1	68.1	△1.0	—

## (キャッシュ・フロー)

回次	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	(参考)	前年同期比増減額	前年同期比増減率(%)
決算年月	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/9	2021/9		
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	1,901	208	1,879	△498	697	△175	872	—
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△484	△765	△1,303	△2	△201	△149	△52	35.0
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△1,224	394	317	△374	△330	△998	668	△66.9
現金及び現金同等物の期末残高(百万円)	2,138	1,967	2,843	2,026	2,315	1,554	760	48.9

## (1株当たり情報/その他)

回次	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	(参考)	前年同期比増減額	前年同期比増減率(%)
決算年月	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/9	2021/9		
1株当たり純資産額(円)	1,308.01	1,333.93	1,249.35	1,206.19	1,170.80	1,136.37	—	—
1株当たり当期純利益金額(円)	61.57	32.03	△51.43	△114.67	△48.53	△132.84	—	—
設備投資額(百万円)	500	877	1,136	235	346	151	194	128.5
減価償却費(百万円)	758	787	824	798	397	600	△202	△33.8
研究開発費(百万円)	1,329	1,326	1,476	1,176	990	858	131	15.4

## セグメント別 四半期推移(会計期間)

単位(百万円)

		2020年 3Q	2020年 4Q	2021年 1Q	2021年 2Q	2021年 3Q	2021年 4Q	2022年 1Q	2022年 2Q	2022年 3Q
受注高	計測器	913	953	1,087	921	901	1,181	1,023	944	957
	特注試験装置	1,256	1,538	1,328	2,265	1,725	1,818	1,481	2,414	1,804
	その他	38	39	37	39	38	39	37	40	40
	合計	2,172	2,495	2,418	3,190	2,629	3,002	2,506	3,363	2,765
売上高	計測器	756	1,017	1,069	793	913	988	1,205	707	818
	特注試験装置	1,243	1,941	1,624	1,425	1,231	1,792	2,188	950	1,181
	その他	38	39	37	39	38	39	37	40	40
	合計	2,002	2,962	2,696	2,223	2,148	2,784	3,395	1,661	2,003
受注残高	計測器	559	495	513	640	628	821	638	876	1,015
	特注試験装置	3,664	3,261	2,965	3,804	4,297	4,323	3,616	5,080	5,703
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	4,223	3,756	3,478	4,445	4,926	5,145	4,255	5,957	6,718
営業利益	計測器	△262	△14	6	△232	△80	△3	162	△212	△103
	特注試験装置	△298	144	31	△321	△281	22	273	△476	△220
	その他	3	6	5	6	8	7	6	7	9
	合計	△560	130	36	△553	△361	17	434	△687	△323

## 前年同四半期比増減金額

単位(百万円)

		2020年 3Q	2020年 4Q	2021年 1Q	2021年 2Q	2021年 3Q	2021年 4Q	2022年 1Q	2022年 2Q	2022年 3Q
受注高	計測器	△402	△269	36	214	△12	228	△64	23	56
	特注試験装置	△1,043	514	△434	476	468	279	152	148	78
	その他	△1	0	△0	0	0	△0	0	0	1
	合計	△1,445	246	△397	690	456	506	87	173	135
売上高	計測器	△375	△452	△54	85	156	△28	135	△86	△94
	特注試験装置	△81	△988	△1,115	△872	△11	△148	563	△475	△50
	その他	△1	0	△0	0	0	△0	0	0	1
	合計	△457	△1,439	△1,169	△786	145	△178	698	△561	△144
受注残高	計測器	△164	18	110	238	69	326	125	235	386
	特注試験装置	△3,378	△1,876	△1,195	153	633	1,062	651	1,276	1,405
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	△3,543	△1,857	△1,084	392	703	1,388	777	1,512	1,792
営業利益	計測器	△281	△280	47	95	182	10	156	19	△23
	特注試験装置	△91	△304	△315	△210	16	△121	241	△155	61
	その他	△0	2	5	2	4	1	1	0	1
	合計	△373	△583	△268	△112	199	△112	397	△134	38

(注)上記金額はセグメント間取引消去を含んでおりません。